# 大 分 県

# 森林環境税の取組み実績

## 平成２５年度の事業概要

農林水産部　森との共生推進室

# 目　次

森林環境税の概要 ････････････････････････････ 1
森林環境税の積立・執行状況 ････････････････････････････ 2
平成25年度森林環境税活用事業一覧表 ････････････････････････････ 3

Ⅰ　災害に強く、生物多様性に配慮した森林の整備

1．荒廃人工林緊急整備事業 ････････････････････････････ 4
2．おおいた竹林再生モデル事業 ････････････････････････････ 7
3．沿道景観保全活用促進事業 ････････････････････････････ 10
4．森林シカ被害防止対策事業 ････････････････････････････ 11
5．おおいた生物多様性保全事業
（1）奥山地域植生等調査事業 ････････････････････････････ 12
（2）絶滅危惧種保護活動事業 ････････････････････････････ 13
6．森と海をつなぐ環境保全推進事業
（1）上下流住民等による海岸漂着流木処理活動 ･･････････････ 14
（2）漁業者等による港湾内の流木処理活動
※処理が必要な港湾内流木の発生がなかったため事業実績なし

Ⅱ　低炭素社会に向けた森林資源の確保と循環利用

1．再造林促進事業 ････････････････････････････ 15
2．県産竹材利用促進事業 ････････････････････････････ 16
3．大分県竹工芸海外販路開拓事業 ････････････････････････････ 18
4．大分県竹産業振興対策事業 ････････････････････････････ 20
5．国産広葉樹資源利活用促進事業 ････････････････････････････ 21
6．森林経営集約化促事業 ････････････････････････････ 22
7．スギ丸太等海外輸出促進事業 ････････････････････････････ 23
8．スギ丸太等内航路貨物輸送トライアル事業 ････････････････････ 24
9．地域材活用住宅建設促進事業 ････････････････････････････ 25
10．次世代林業の森林づくり推進事業 ････････････････････････････ 26

Ⅲ　県民参加の輪を広げ、次世代へつなぐ取組

1．森林づくりボランティア推進事業 ････････････････････････････ 27
（森林づくり提案事業一覧表） ････････････････････････････ 30
2．森林環境教育推進事業
（1）森の先生派遣事業 ････････････････････････････ 34
（2）名樹とのふれあい事業 ････････････････････････････ 35
（3）次代の森林づくり活動リーダー育成研修支援事業 ･･････････ 36
（4）みんなで「木育」推進事業 ････････････････････････････ 37
3．子育て自然体験促進事業 ････････････････････････････ 38
4．山岳施設整備事業 ････････････････････････････ 39
5．森林環境学習指導者活用事業 ････････････････････････････ 40
6．みんなで支える森林づくり推進事業 ････････････････････････････ 41
7．おおいたの森林づくり広報推進事業 ････････････････････････････ 43
8．新たな育林技術研究開発事業 ････････････････････････････ 44

# 森 林 環 境 税 の 概 要

## １ 森林環境税導入の目的

森林環境の保全と、森林を全ての県民で守り育てる意識の醸成のための施策に必要な財源を確保するため、平成１８年度から県民税の特例として森林環境税を導入した。

## ２ 森林環境税の概要

■期 間　　税の特例期間：５年
　　　　　第Ⅰ期：平成１８年度～平成２２年度
　　　　　第Ⅱ期：平成２３年度～平成２７年度

■税 額　　個人…年額　500円
　　　　　法人…年額　1,000円～40,000円　（法人県民税（均等割額）の 5%）

■税 収　　単年度　約３億２千万円

■管理･運営　・徴収した税は「森林環境保全基金」に積立て、他の事業と区別し活用
　　　　　・基金の適正な運用を図るため、第三者機関「大分県森林づくり委員会」を設置し、事業の審査や成果の検証等を実施

## ３ 森林環境税の使途

下記のテーマに沿い、荒廃した森林の整備や、再造林の推進、木材の需要拡大、県民が自ら提案し実行する森林づくりの支援、森林ボランティア活動の推進等の事業を実施

＜第Ⅰ期　平成18年度～平成22年度＞

テーマ：県民主導、個性豊かな取組、多くの県民が参加する仕組みづくり
　Ⅰ　県民意識の醸成
　Ⅱ　環境を守り災害を防ぐ森林づくり
　Ⅲ　持続的経営が可能な森林づくり
　Ⅳ　遊び、学ぶ森林づくり

＜第Ⅱ期　平成23年度～平成27年度＞

テーマ：県民生活を守り、地球環境保全につながる森林づくり
　Ⅰ　災害に強く、生物多様性に配慮した森林の整備
　Ⅱ　低炭素社会に向けた森林資源の確保と循環利用
　Ⅲ　県民参加の輪を広げ、次世代へつなぐ取組

## ４ 全国の森林環境税導入状況

大分県は全国で９番目に導入した。平成２６年５月現在、３５県が導入済み。

# 森林環境税の積立・執行状況

## ＜第Ⅰ期＞（H18～H22）

### 1．森林環境税の積立状況

（千円）

| | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 基金積立額 | 200,781 | 295,120 | 309,363 | 306,987 | 302,495 | 1,414,746 |

### 2．森林環境税の執行状況

（千円）

| 区分 | 年度別実績 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 | 合計 | 割合(%) |
| Ⅰ　県民意識の醸成 | 23,264 | 38,986 | 41,034 | 37,477 | 28,075 | 168,836 | 14 |
| Ⅱ　環境を守り災害を防ぐ森林づくり | 77,325 | 110,919 | 102,612 | 137,995 | 195,344 | 624,195 | 51 |
| Ⅲ　持続的経営が可能な森林づくり | 39,740 | 69,371 | 78,595 | 78,595 | 87,154 | 353,455 | 29 |
| Ⅳ　遊び学ぶ森林づくり | 14,706 | 23,231 | 22,150 | 14,729 | 11,027 | 85,843 | 7 |
| 合計 | 155,035 | 242,507 | 244,391 | 268,796 | 321,600 | 1,232,329 | 100 |

## ＜第Ⅱ期＞（H23～H27）

### 1．森林環境税の積立状況

（千円）

| | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 基金積立額 | 304,011 | 305,745 | 307,724 | － | － | 917,480 |

### 2．森林環境税の執行状況

（千円）

| 区分 | 年度別実績 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | 合計 | 割合(%) |
| Ⅰ　災害に強く生物多様性に配慮した森林の整備 | 165,192 | 160,790 | 133,267 | － | － | 459,249 | 46 |
| Ⅱ　低炭素社会に向けた森林資源の確保と循環利用 | 151,090 | 105,251 | 142,308 | － | － | 398,649 | 40 |
| Ⅲ　県民参加の輪を広げ次世代へつなぐ取組 | 46,050 | 45,446 | 56,115 | － | － | 147,611 | 15 |
| 合計 | 362,332 | 311,487 | 331,690 | － | － | 1,005,509 | 100 |

## ＜第Ⅰ期、第Ⅱ期の合計＞

（千円）

| | 第Ⅰ期 | 第Ⅱ期 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 基金積立額 | 1,414,746 | 917,480 | 2,332,226 |
| 執行額 | 1,232,329 | 1,005,509 | 2,237,838 |

※基金積立額は、税収から市町村の徴収に要する経費を引いたもの

# 平成２５年度 森林環境税活用事業一覧表

（網掛け）･･･新規事業

| 施策区分 | | 事業区分 | 事業費（千円） | 担当課室 |
|---|---|---|---|---|
| Ⅰ災害に強く、生物多様性に配慮した森林の整備 | 1 荒廃森林の機能回復 | 1 荒廃人工林緊急整備事業 | 26,341 | 森林整備室 |
| | | （１）災害に強い森林づくり推進事業 | 21,484 | |
| | | ①流木被害森林緊急整備事業（H25～） | 18,507 | |
| | | ②間伐放置林緊急整備事業（H18～） | 2,977 | |
| | | （２）再造林放棄地緊急整備事業（H18～） | 4,857 | |
| | 2 荒廃里山林の整備と利活用 | 2 おおいた竹林再生モデル事業（H22～） | 29,370 | 森との共生推進室 |
| | | 3 沿道景観保全活用促進事業 （H25～） | 398 | 景観・まちづくり室 |
| | 3 獣害対策の推進 | 4 森林シカ被害防止対策事業（H20～） | 74,035 | 森との共生推進室 |
| | | 5 おおいた生物多様性保全事業 （H22～） | 2,486 | 生活環境企画課 |
| | 4 森・川・海をつなぐ流域環境の整備 | 6 森と海をつなぐ環境保全推進事業 | 637 | |
| | | （１）上下流住民等による海岸漂着流木処理活動（H18～） | 637 | 廃棄物対策課 |
| | | （２）漁業者等による港湾内の流木処理活動（H19～） ※ | 0 | 漁業管理課 |
| | 計 | | 133,267 | |
| Ⅱ低炭素社会に向けた森林資源の確保と循環利用 | 1 健全な人工林資源の再生 | 1 再造林促進事業（H21～） | 114,360 | 森林整備室 |
| | 2 未利用資源の有効利用 | 2 県産竹材利用促進事業（H21～） | 1,719 | 工業振興課 |
| | | 3 大分県竹工芸海外販路開拓事業（H25～） | 3,800 | 商業・サービス業振興課 |
| | | 4 竹産業振興対策事業（H24～） | 100 | 林産振興室 |
| | | 5 国産広葉樹資源利活用促進事業（H23～） | 5,079 | |
| | 3 木材の需要拡大 | 6 森林経営集約化促進事業（H23～） | 480 | 林産振興室 |
| | | 7 スギ丸太等海外輸出促進事業（H21～） | 8,769 | |
| | | 8 スギ丸太等内航路貨物輸送トライアル事業（H25） | 3,594 | |
| | | 9 地域材活用住宅建設促進事業（H24～） | 1,949 | |
| | | 10 次世代林業の森林づくり推進事業（H23～） | 2,458 | 林務管理課 |
| | 計 | | 142,308 | |
| Ⅲ 県民参加の輪を広げ、次世代へつなぐ取組 | 1 森林ボランティア活動の推進 | 1 森林づくりボランティア活動促進事業 | 36,475 | 森との共生推進室 |
| | | （１）森林づくりボランティア支援センター事業（H18～） | 3,333 | |
| | | （２）森林づくりボランティア支援センター施設整備事業（H25） | 12,196 | |
| | | （３）森林ボランティア活動支援事業（H18～） | 680 | |
| | | （４）森林ボランティア技術向上事業（H18～） | 1,913 | |
| | | （５）企業参画の森づくり推進事業（H19～） | 1,428 | |
| | | （６）森林づくり提案事業（H21～） | 16,925 | |
| | 2 森林環境教育・木育の推進 | 2 森林環境教育推進事業 | 5,724 | |
| | | （１）森の先生派遣事業（H19～） | 3,300 | 森との共生推進室 |
| | | （２）名樹とのふれあい事業（H25～） | 1,310 | |
| | | （３）次代の森林づくり活動リーダー育成研修支援事業（H25～） | 700 | |
| | | （４）みんなで「木育」推進事業（H23～） | 414 | 林産振興室 |
| | | 3 子育て自然体験促進事業(H25) | 1,089 | 子ども子育て支援課 |
| | | 4 山岳施設整備事業（H24～） | 2,415 | 景観・まちづくり室 |
| | | 5 森林環境学習指導者活用事業（H18～） | 893 | 社会教育課 |
| | 3 森林整備への理解と参加を広げる活動 | 6 みんなで支える森林づくり推進事業 | 3,742 | 森との共生推進室 |
| | | （１）豊かな国の森づくり大会の開催（H18～） | 2,025 | |
| | | （２）新たな森林づくり推進体制整備事業（H18～） | 1,717 | |
| | | 7 おおいたの森林づくり広報推進事業(H18～) | 2,107 | |
| | 4 森林づくりに繋がる新たな取組の支援 | 8 新たな育林技術研究開発事業（H18～） | 3,670 | 森との共生推進室 |
| | 計 | | 56,115 | |
| 合計 | | | 331,690 | |

※処理が必要な港湾内流木の発生がなかったため事業実績なし

# Ⅰ－1　荒廃人工林緊急整備事業

事業費 63,726千円（うち森林環境税 56,492千円）

【森林整備室】

## 1　実施主体

８森林組合、５市町

## 2　実施事業の概要

（１）目的

長年間伐を実施していない森林（間伐放置林）や伐採後再造林されていない森林（再造林放棄地）および河川沿いの流木発生の危険性の高い森林等の荒廃人工林を対象に森林整備を行い、より効率的に災害発生防止等の公益的機能が発揮できる健全な森林に誘導する。

（２）事業内容

①間伐放置林等緊急整備事業

災害の発生が懸念される間伐放置林等の強度間伐による針広混交林化等

②再造林放棄地緊急整備事業

災害の発生が懸念される再造林放棄地の植栽及び下刈りによる自然植生の回復

③流木被害森林緊急整備事業

河川沿いの流木発生の危険性の高い森林を対象とした更新伐・林内整備による自然植生の回復・広葉樹林化

## 3　成果

①間伐放置林等緊急整備事業

４０％の間伐により林内が明るくなり、早期の自然植生侵入により針広混交林化を促進し、表土の流出を抑えることで、公益的機能を高めることができた。

| 年度 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 計画 | 50ha | 150ha | 25ha | 25ha | 25ha | 275ha |
| 実績 | 45ha | 145ha | 13ha | － | － | － |

②再造林放棄地緊急整備事業

広葉樹の植栽を行うことにより、早期に災害に強い森林の造成を行った。

＜植栽＞

| 年度 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 計画 | 5ha | 5ha | 4ha | 5ha | 5ha | 24ha |
| 実績 | 13ha | 3ha | 3ha | － | － | － |

＜下刈＞

| 年度 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 計画 | 106ha | 111ha | 72ha | 52ha | 36ha | 377ha |
| 実績 | 53ha | 47ha | 34ha | ― | ― | ― |

③流木被害森林緊急整備事業

伐採率 40 ％以上の更新伐と林内整備を行うことにより、林内が明るくなり自然植生の回復・広葉樹林化が促進された。

＜更新伐＞

| 年度 | H25 | H26 | H27 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 計画 | 81ha | 84ha | 85ha | 250ha |
| 実績 | 57ha | ― | ― | ― |

## 4　課題及び今後の取組

これまでの取り組みに加え、流木被害森林緊急整備事業の実施市町を増やし、災害に強い森林づくりをさらに推進する。

## 5　実施状況写真

①間伐放置林等緊急整備事業

間伐実施前

間伐実施後

②再造林放棄地緊急整備事業

集落背後地等の危険箇所が対象

再造林を行った森林の様子

③流木被害森林緊急整備事業

流木発生の危険性の高い森林が対象

事業実施前

事業実施後

事業実施状況

# Ｉ－２　おおいた竹林再生モデル事業

事業費 29,654千円
【森との共生推進室】

## １　実施主体　市町村

## ２　実施事業の概要

（１）目的

１．県土の保全と良好な景観を確保するため、主要観光地周辺や幹線道路沿線及び集落周辺の鳥獣害対策が必要な箇所における荒廃竹林の伐竹整備、広葉樹林への転換等を推進する。

２．竹材、タケノコ生産地として持続的管理が見込める荒廃竹林の再生を推進する。

（２）事業内容

①広葉樹林化

荒廃竹林を広葉樹林に転換するために必要な伐竹整備、広葉樹植栽、再生竹除去等を実施した。

広葉樹林化実績　(ha)

| 市町村 | Ｈ２３ | Ｈ２４ | Ｈ２５ |
|---|---|---|---|
| 大分市 | 2.12 | | |
| 由布市 | 3.44 | 2.01 | 1.65 |
| 竹田市 | | | 0.35 |
| 玖珠町 | 0.67 | | |
| 日田市 | 1.85 | 0.25 | |
| 計 | 8.08 | 2.26 | 2.00 |

【由布 IC 付近（由布市）】

【竹田市円形分水】

②大分空港道路竹林整備
　大分空港道路沿線の荒廃竹林について、景観改善の目的で伐竹整備、広葉樹植栽を実施した。

大分空港道路竹林整備実績

| | 実施主体 | 面積（ha） |
|---|---|---|
| 民有地 | 杵築市 | 0.77 |
| 県有地 | 大分県 | 2.20 |
| 計 | | 2.97 |

【大分空港道路沿線（大分県実施）】

【大分空港道路沿線（杵築市実施）】

③優良竹林化
　荒廃竹林を竹材、タケノコ生産林として活用するため、伐竹整備及び作業路の開設を実施した。

【杵築市】

【豊後大野市】

優良竹林化実績

| | 管理方法(ha) | | 計 | 簡易作業路開設(m) |
|---|---|---|---|---|
| | タケノコ生産 | 竹材生産 | | |
| 別府市 | | 1.82 | 1.82 | 900 |
| 杵築市 | 3.38 | | 3.38 | |
| 国東市 | 2.48 | | 2.48 | |
| 日出町 | 0.44 | | 0.44 | 250 |
| 玖珠町 | 0.76 | | 0.76 | |
| 日田市 | 1.23 | | 1.23 | 500 |
| 豊後高田市 | 2.38 | | 2.38 | 910 |
| 宇佐市 | 0.35 | | 0.35 | |
| 臼杵市 | 1.54 | 0.68 | 2.22 | |
| 由布市 | 0.48 | | 0.48 | |
| 豊後大野市 | 1.08 | 1.15 | 2.23 | 224 |
| 計 | 14.12 | 3.65 | 17.77 | 2,784 |

## 3　成果

荒廃竹林を整備することで、景観の改善が図られた。また、タケノコ・竹材生産林へと誘導することで、継続した竹林の維持管理ができ、竹材・タケノコの生産振興が図られた。

## 4　課題及び今後の取組

平成２６年度以降はこれまでの取組に加え、幹線道路沿線の景観改善のための竹林整備を推進する。

# Ⅰ－３　沿道景観保全活用促進事業

事業費 593 千円（うち森林環境税 198 千円）

【景観・まちづくり室】

**１　実施主体**

由布市、九重町

**２　実施事業の概要**

（１）目的

恵まれた自然環境と人々の営為により創出され保全されてきた大分県の景観資源を有効活用し、観光振興、地域活力の再生に取り組む。

（２）事業内容

風景街道「九州横断の道やまなみハイウェイ」等の視点場からの眺望を阻害する雑木等を伐採し、沿道景観の再生を図る。

（単位：円）

| 実施主体 | 伐採箇所 | 事業費 | （補助金） | 補助率 |
|---|---|---|---|---|
| 由布市 | 蛇越展望所 | 493,500 | (329,000) | 2／3<br>（国費 1／3） |
| 九重町 | 阿蘇眺望 | 99,750 | (66,000) | |
| 計 | | 593,250 | (395,000) | |

**３　成果**

・展望所等の眺望が当時の状態に再生され、観光客の増加につながった。
・景観再生の効果が実証でき、他地域での事業展開の契機となった。

**４　課題及び今後の取組**

景観支障となる樹木のある土地が民有地の場合に、協力を得られない場合があるので、景観保全の重要性を理解してもらうため、伐採箇所の成功事例を PR する。

**５　実施状況写真**

**＜由布市湯布院町（蛇越展望所）＞**

**伐採前**

**伐採後**

# Ⅰ－４　森林シカ被害防止対策事業

事業費 74,035千円
【森との共生推進室】

## １　実施事業の概要

（１）目的

シカによる森林生態系被害が県内各地で発生しており、森林の有する公益的機能の低下が危惧されている。このため、防護資材を設置し、直接的な林木への被害を防止する。また、シカの捕獲報償金事業により捕獲の強化を行いシカの生息頭数を適正な頭数まで減少させ、森林の有する公益的機能の維持増進を図る。

シカの食害を受け盆栽状になったスギ

クヌギ萌芽を食害するシカ

（２）事業内容

| 種類 | | 事業量 | 県費（環境税）（千円） |
|---|---|---|---|
| 防護資材等の設置 | バークガード | 5,170枚 | 1,209 |
| | 防護柵 | 1,750m | 391 |
| シカ捕獲報償金事業 | | 22,026頭 | 70,407 |
| 生産体制強化講習会・大分狩猟肉フェアの開催 | | 6回 | 1,632 |
| 計 | | | 73,639 |

## ２　成果

防護資材の設置による森林被害の防止と捕獲報償金による捕獲強化によって森林におけるシカ被害対策を推進することができた。また、大分県農林水産祭や東京都のレストラン等において大分狩猟肉フェアを開催し、狩猟によって捕獲した個体の獣肉利活用を促進した。

## ３　課題及び今後の取組み

（１）課題

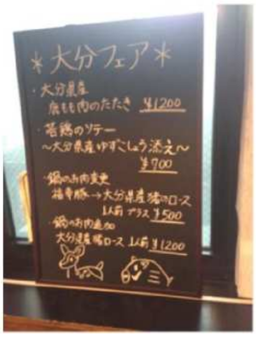
依然として県内のシカの生息密度は適正密度より高い状況にあり、さらなる捕獲の推進が必要である。

（２）今後の取組

しいたけ原木伐採後のクヌギ萌芽にシカ被害が発生していることから、防鳥ネットを使用した低コストな防除方法を推奨する。シカの生息頭数を減少させるため、捕獲報償金による捕獲強化に継続して取り組む。

## ４　実施状況写真

農林祭のブースでジビエ料理をPR




東京の飲食店においてフェアを開催

# Ⅰ－５－（1）　おおいた生物多様性保全事業
# （奥山地域植生等調査事業）

事業費 1,580千円

【生活環境企画課】

## １　実施主体

県（大分県植物研究会に委託）

## ２　実施事業の概要

（１）目的

専門家による知見が不足する奥山地域において、ニホンジカによる植生の食害状況等を調査し、希少植物等の保全策を検討する。

（２）事業内容

①　植生等調査

②　シカ防護柵実証試験

③　報告書作成

## ３　成果

平成２５年度は津江山系県立自然公園において、ニホンジカの食害状況を含む植生の現況を調査し、食害の程度や植生変化の確認を行った。

また、過去に調査した祖母傾国定公園及び耶馬日田英彦山国定公園内に試験的に設置したシカ防護柵内のモニタリングを通じて、ニホンジカによる食害や植生に与える影響を検証した。

## ４　課題及び今後の取組

引き続き食害の影響とその対策を検討するために、現に食害の見られる区域におけるシカ防護柵設置後のモニタリングを実施する。

## ５　実施状況写真

シカの角研ぎによる被害

シカの採食状況調査

# Ｉ－５－（２）　おおいた生物多様性保全事業
# （絶滅危惧種保護活動事業）

事業費　906千円

【生活環境企画課】

## １　実施主体

県（特定非営利活動法人グリーンインストラクターおおいた及び九重・飯田高原観光協会に委託）

## ２　実施事業の概要

（１）目的

絶滅のおそれのある野生動植物の保護措置をＮＰＯ等に委託し、当該団体の活動を支援することで、ＮＰＯ・地元・行政が協働して行う保護活動が地域に根付き、継続・拡大していくことを目指す。

（２）事業内容

①ヒメユリの保護活動（特定非営利活動法人グリーンインストラクターおおいた）

②ミヤマキリシマの保護活動（九重・飯田高原観光協会）

## ３　成果

①ヒメユリの保護を図るため、鹿ネットの設置、下草刈り等を実施した。

②ミヤマキリシマの保護を図るため、ミヤマキリシマの成長を阻害する支障木（ノリウツギ・ヤシャブシ等）の伐採を行った。

## ４　課題及び今後の取組

（１）当該委託事業の終了後も、当該委託団体は絶滅危惧種の保護活動を継続していく。

（２）平成２６年度も公募を行い、絶滅危惧種の保護を十分図ることが出来る団体を選定し、委託を行う。

## ５　実施状況写真

①ヒメユリ保護のためのネットの設置

②ミヤマキリシマ保護のための支障木の伐採

# Ⅰ－６－（１）　森と海をつなぐ環境保全推進事業
## （上下流域住民による海岸漂着流木処理活動）

事業費 637千円
【廃棄物対策課】

**１　実施主体**　地区自治会、ＮＰＯ等の団体

**２　実施事業の概要**

（１）目的

近年、上中流域の荒廃森林などから流出した流木等が大量に海岸に集積して、下流域住民の生活、経済活動の障害となっているが、撤去のための重機作業による回収、流木の切断、処理施設への搬送等に多大な人手と経費が必要であり、下流域住民や市町村だけでの対応は困難になってきている。

このため、地区自治会、ＮＰＯ等の団体がボランティア活動により海岸の漂着流木等の処理を行う場合に必要な経費の一部を補助するもの。

（２）事業内容

| 団　体　名 | 実　施　日 | 場　所 | 参加人数 | 処理量 |
|---|---|---|---|---|
| NPO法人水辺に遊ぶ会 | 6月16日～<br>平成26年3月9日 | 中津市　大新田海岸<br>三百間海岸 | 1,565 | ― |
| 杵築市まちピカ運動推進委員会 | 10月20日 | 杵築市　守江港海岸 | 183 | 約5㎥ |
| 地縁団体　梶ヶ浜区 | 7月20日～7月25日 | 杵築市　梶ヶ浜海岸 | 120 | 約40㎥ |
| NPO法人きらり・つくみ | 8月1日～8月31日 | 津久見市　無垢島海岸 | 30 | ― |
| つな★ばんプロジェクト | 6月～<br>平成26年2月23日 | 佐伯市　西浜海岸 | 273 | ― |
| 計 | | | 2,171 | 約45㎥ |

**３　成果**

平成25年度は、台風も少なく比較的穏やかな気候が続いたため、流木等の処理量は前年度より減少した。（約65㎥　→　約22㎥）

しかし、ボランティア活動については2,000人以上が参加しており、これまでと同規模で推移している。特に、佐伯市では、当事業を活用し、行政や民間企業と連携したプロジェクト（任意団体が主体）も発足している。

**４　課題及び今後の取組**

引き続き活用団体の掘り起こしが必要であるため、ごみゼロおおいた作戦と連携して取り組んでいく。

また、「森と海をつなぐ」の名のとおり、上流部とのさらなる繋がりが必要である。

**５　実施状況写真**

NPO法人水辺に遊ぶ会　活動写真

梶ヶ浜区　活動写真

NPO法人きらり・つくみ　活動写真

杵築市まちピカ運動推進委員会
活動写真

つなばんプロジェクト　活動写真